NO.4 2006.2.1

歴史ロマン古道ニュース

【発行】歴史古街道団
ホームページ http://homepage3.nifty.com/kokaido/
事務局 〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘4-36-21 APT1・2・3-302
TEL/FAX 042-389-5534
宮田太郎（歴史古街道団 団長）

さきもりまつり

別れを惜しむ防人の妻

“防人見返りの峠”標柱設置

北九州の任地へ向かう防人

今年もよろしくお願い致します

歴史古街道団 団長 宮田太郎

新年を迎え、また新しき息吹に満ちた初春の良き気運が巡って参りました。

皆様方におかれましては新たな目標や、仕事や趣味の楽しい計画、また健康の回復や維持・向上など、様々な新たな誓いを立てておられることと存じます。

古街道団では、毎月のたくさんの企画に加え、昨年の春（5月）には「歴史古道が集まる野津田の丘・古街道ウォーキング大会」、11月には「第1回のさきもり祭り（防人見返りの峠ウォーキング）」を実施し、多くの皆様のご参加とご賛同を頂き、目標通りの成功を収めることが出来ました。

当団はスタート以来「文化財ルネッサンス」「歴史古道ルネッサンス」という、高い目標を掲げて活動しています。

2年目を迎えた本年も旧年に増して、すでにたくさんの企画が順番待ちをしています。

多摩地区を飛び出し、関東各地での新たな歴史古道を取り入れた計画や関西の歴史ある町の探訪。九州の壱岐・対馬まで足を伸ばす歴史紀行も企画しています。

新鮮な気持で見聞を広め、奥深い歴史を体験することができるのは「歴史古街道」ならではの世界です。

それに関わることで私達は大いに元気になり、また様々な形で勇気づけられるということを、もっともっと皆さんと実感していきたいと思います。

今年からは“歴古団（REKKODAN）サポートメイト”も広く募集します。どなたでもお気軽にご参加下さい。また毎月の活動にもぜひお友達、ご家族に声を掛けご参加下さい。皆様が一日も早くこの“感動に満ちた古街道の世界”の魅力に包まれて楽しまれることを、今年も役員スタッフ一同、心より願っております。

No.4

さきもりまつり2006

地域・市民ぐるみの祭りへ

古街道団は05年度の成功を踏まえて、今年は地域の行政や商工関係・各種の歴史グループ・市民団体・個人に呼びかけて地域協同の「さきもりまつり」に仕立てようと春から市民実行委員会を立ち上げる予定です。

今年も昨年同様「よこやまの道」が紅葉に彩られる11月23日（祝日・勤労感謝の日）を予定しています。多摩丘陵に残された貴重な文化遺産を生かした新しい町おこしの祭りにみんなで育てていこうではありませんか！

防人（さきもり）の古代国道と
歴史古街道団活動予定

歴史古街道団結成2年目を迎えた今年。昨年秋の「さきもりまつり」の成功を踏まえて、「さきもりの道はどこか…」探索ウォーキングを継続します。

また、新たに古代甲州道を探るシリーズの他に、少し足を延ばして琵琶湖周辺の古代史、九州の壱岐・対馬への歴史紀行など、東アジア全域の視点から古代史を学んでみようと企画しています。

■2月15日（水） ウォーキング

さきもり（防人）の道はどこか~
幻の古代国道を探せ！シリーズ
〔奥州古道・多摩愛宕丘陵編〕

【集合10：00　京王線聖蹟桜ヶ丘西口改札前

【内容】昨年の9月25日に雨天のため中止となった分の振替。往きは公費で九州に行った防人も還りは自費のこともあり帰りつかぬ者も多かったようです。再会を夢見ていた我家や故郷を見た時の感激は大きかったことでしょう。その帰路が奥州古道であり、多摩市の愛宕地区の山から武蔵野を眺めたであろう場所を実際に現地に探ります。

【コース】聖蹟桜ヶ丘駅~ 一ノ宮の渡し場跡~ 小野神社~ 宝蔵橋~ へっぴり坂~ 東寺方~ 昼食（多摩市立体育館付近にレストラン・売店有）~ 庚申塚古墳~ 古代甲州道と奥州古道の辻~ 愛宕神社と古道跡~ ~ 愛宕の切通し~ 愛宕バス停にて解散（15：50頃）

■2月25日（土） ウォーキング

幻の『古代甲州道』を探る~ その1
多摩と諏訪湖・八ヶ岳を結んだ道
〔大栗川と稲荷塚古墳~ 大塚古墳編〕

【集合】10：00　聖蹟桜ヶ丘駅西口改札前

【内容】多摩ニュータウン遺跡は、縄文~奈良平安中世を通して各遺跡が大栗川に沿う地域に集中分布。上流の柚木・松木や南大沢に濃厚なポイントがあり古代役所的な遺跡と大量の遺物が既に発見され、今まで知られることのなかった大街道『古代甲州道』が存在した可能性が考えられます。最近、八ヶ岳山麓でその巨大な古道の痕跡と遺跡群と推測される地点を確認。八ヶ岳には多摩で発見された古代役所跡と類似した役所跡遺跡もあり、双方はかつてこの道で密接につながっていたこと、また東西に並ぶ稲荷塚古墳と大塚古墳が東西に並ぶ不思議を、現地を歩きながら検証します。

【コース】聖蹟桜ヶ丘駅~ 関戸有山集落~ おばけ坂~ 東寺方~ 稲荷塚古墳~ 大塚八幡~ 昼食（近くの飲食店で自由）~ 大栗川に沿う推定古道を西へ~ 京王堀の内駅または最寄バス停にて解散（15：50頃）

■3月7日（火） ウォーキング

さきもり（防人）の道はどこか~
幻の古代国道を探せ！シリーズ
〔座間水郷~ 相模川~ 海老名編〕

【集合】10：00　ＪＲ相模線「相武台下駅」改札前

【内容】昨年12月13日実施の防人の道・座間編の続き。戦国時代の武田信玄は小田原攻めで今の座間キャンプ北側付近から短絡路で相模川を渡りましたが（猿ケ島ルート）、防人達が歩いていた古代東海道は、かなり南下して、海老名の国分寺方面に達してから厚木に渡ったようです。そのルートを現地踏査します。

【コース】相武台下駅~ 古代の駅家伝説の座間・宗仲寺~ 座間神社~ 円教寺と座間の長宿水郷~ 鈴鹿明神~ 昼食自由（ファミレス有）~ 梨の木坂横穴古墳群~ 鎌倉道~ 星谷寺~ 小田急線「座間駅」解散（15：50頃）

■3月21日（火・祝） ウォーキング

幻の『古代甲州道』を探る~ その2
多摩と諏訪湖・八ヶ岳を結んだ道
〔京王堀の内~ 南大沢編〕

【集合】10：00京王堀の内駅改札前

【内容】古代甲州道は諏訪湖の先は木曽路などで奈良・京都といった都へ続いていた大街道です。武蔵野から相模野へ、たったひとつの峠越えだけで多摩丘陵を横断できたのが南大沢の峠でした。

大栗川の源流に向かって続く古道跡を追跡します。また古代役所跡が発見された松木の丘に残された貴重な中世の歴史景観や、近世の鮎街道を楽しみます。

【コース】京王堀の内駅~ 南八幡神社~ 松木七郎の墓と浅間神社~ 昼食（ファミレス・コンビニ有）~ 古代役所跡と大石信濃守屋敷跡~ 富士見公園~ 首都大学構内~ 南大沢八幡神社~ 南大沢駅にて解散（15：50頃）

■4月11日（土） ウォーキング

幻の『古代甲州道』を探る~ その3
多摩と諏訪湖・八ヶ岳を結んだ道
〔南大沢~ 多摩境・橋本編〕

【集合】10：00　京王相模原線「南大沢駅」改札前

【内容】関東の古代道のゴールデンクロス（黄金の十字路）である“橋本”めざして、いよいよ多摩丘陵を峠一つ（南大沢の内裏峠）で越えることのできる遺跡の多いコースを進みます。かつて戦車の試験走行をした旧戦車道路は今は遊歩道となっており、この高台から見る丹沢や富士山の勇壮な姿は大きな感動です。旧町田街道から境川を渡ると相模原台地に古道は続きます。

【コース】南大沢駅~ 内裏峠と古道~ 旧戦車道路~ 昼食（多摩境駅近くの広い公園で弁当。ファミレスも有）~ 札次神社~ 田端遺跡~ 旧町田街道~ 境川~ 天縛皇神社~ まつば坂の鎌倉道~ 蓮乗院~ 原家~ 橋本駅（ＪＲ、京王）にて解散（15：50頃）

古代甲州道をゆく

２００６／２月～５月

■4月23日（日） ウォーキング

さきもり（防人）の道はどこか~
幻の古代国道を探せ！シリーズ
〔足柄峠・新ルート編〕

【集合】9：20小田急線「新松田駅」改札前

【内容】防人が通った「足柄古道」は、本当に現在知られている地蔵堂から上っていく登山道でいいのだろうか。あまりにも細すぎるのではないか。むしろ矢倉沢岳に寄るようなルートあるいは地蔵堂から金太郎の里に向かってから登るルート、または夕陽の瀧の上を登る道ではないか・・・など新しい視点でその実地踏査を実施します。（ハイキング上級者向き）

【コース】小田急新松田駅~ 路線バスで足柄関所跡~ 内山地区踏査~ 路線バスで地蔵堂（昼食休憩）~ 地蔵堂裏尾根踏査~ 夕陽の瀧裏尾根踏査~ 路線バスで小田急線「新松田駅」（解散16：30頃）

【その他】登りの多いコースなのでやや体力を必要としますので登山中級、ハイキング上級者以上が募集対象 昼食・軽食持参 雨具必携。

市民ぐるみのまつりへ
万葉防人の道で
多摩独自の地域興しを！

■5月7日（日）

さきもりまつり2006実行委員会設立に向けた学習会

【会場】多摩市関戸公民館8F大会議室＜VITA（ヴィータ）8F／聖蹟桜ヶ丘駅前西口~ 徒歩3分＞

【時間】14：00~ 16：30（13：50開場）

【内容】①講演会＝多摩ニュータウンと「よこやまの道」
講師＝藤田道男氏(㈱新都市センター常務取締役)
②学習会＝研究最前線！防人の道・古代国家の大道“古代東海道”はどこか
講師＝宮田太郎（歴史古街道団団長）他
③「防人まつり2006」実行委員会設立についての説明会

【参加費】資料代500円
申込は当日受付へ（先着96名）

■5月14日（日） ガイド養成講座

『春の野津田・歴史古道の集まる丘＆小野路ウォーキングガイド講座』

〔集合〕9：30 町田市立野津田公園上の原サッカー広場管理塔前

〔内容〕6月以降に野津田・小野路地区でのガイドができるように養成講座を開催

【講師】宮田太郎団長

【参加費】1,000円 申込・当日現地で小雨決行・筆記用具、昼食・雨具持参
どなたでもお気軽に（会員対象）

■5月27日（土）

歴史古街道団
２００６年度総会

〔会場〕関戸公民館8F大会議室
＜VITA（ヴィータ）8F／聖蹟桜ヶ丘駅西口~ 徒歩3分＞

〔時間〕14：00~ 16：30

〔内容〕2年目の活動に向け、団のシステムと新たな決意を固めます。調査研究部より研究活動報告があります。

〔申込〕欠席の場合は委任状提出。
（新規入団希望者の出席大歓迎）

＝ウォーキング共通参加要項＝
☆参加費
団員 700円(夫婦1,000円)
一般1,000円(夫婦1,500円)
中学生以下無料
☆申込不要（当日集合場所で受付）
☆小雨決行・昼食・雨具各自持参

■4月18日（火）~ 20日（木）

２泊３日旅行（NHK学園主催）
『海の古街道“壱岐・対馬”の渡来文化遺跡をゆく』
歴史古街道団＆NHK学園協同企画
☆申し込み問い合わせは古街道団本部（宮田）まで。古街道団ホームページにも掲載。

■3月29日（水）~ 30日（木）

１泊２日旅行
『比叡山と琵琶湖南岸の古代遺跡歴史ロマンの旅』

【集合】②京都駅八条口11：30集合
①東京から同行希望の方は東京駅8：00集合（8：36発新幹線乗車）
参加ご希望の方に別途詳細を御連絡します。（京都からは貸切バスとなります）

【内容】近江国（滋賀県）は本州が最もくびれてれている場所。日本海と太平洋を水上交通で橋渡しする琵琶湖には古代から多くの渡来文化と歴史が花開きました。天智天皇が都を建設した大津宮跡や多摩地方にもゆかり深い小野氏の里、大伴皇子の陵墓、世界遺産の比叡山は天海和尚や文覚和尚など有名な僧侶が活躍した寺域も巡ります。水郷で知られる近江八幡では安土城や聖徳太子ゆかりの百済寺を尋ねるなど、新たな発見に満ちた感動の歴史浪漫紀行となることでしょう。

講師＝宮田団長/募集人数＝先着順・20名/代金＝39，800円
締め切り＝3月22日

【行程概略】3月29日＝（東京駅8：36発~ 京都11：20着）京都駅八条口11：30集合~ 貸切バスで比叡山（西塔と東塔周辺）~ 日吉大社~ 雄琴温泉（宿泊） 30日＝大津宮跡周辺~ 小野一族の里と和邇（小野神社、小野妹子・道風神社ほか）近江八幡水郷~ 安土城~ 聖徳太子ゆかりの朝鮮式古寺院・百済寺~ 米原駅（解散）

※旅行代金は京都駅から米原駅までの移動・宿泊・拝観料等の費用。東京からの往復新幹線代金は含まれていませんのでご注意ください。

夕映えのなか感動のフィナーレ

『さきもりまつり2005』万葉防人見返りの峠ウォーキング

歴史古街道団（宮田太郎団長・団員180人）は平成17年9月から11月まで「さきもりまつり2005」を開催。最終日（11/23）は200人に及ぶ参加者が多摩よこやまの道に集まり、大盛況のなかで感動的な祭りの幕を閉じた。

今年（2006年）秋に多摩の歴史的資源を背景とした市民参加の新しい“地域まつり”の開催を提案しようと、そのプレイベントとして実施したもの。

この歴史イベントは ＜第一部＞防人の道はどこだったか…実際に歩いて検証する ＜第二部＞万葉歌とくに防人の歌を学ぶ ＜第三部＞万葉防人見返りの峠ウォーキング（11/23）を実施し、飛鳥奈良時代のロマンを想い楽しむ ＜第四部＞貴重な歴史遺産を後世に伝えるためモニュメントとして「防人見返りの峠」の標柱を立てる、の4部構成で3ヶ月間にわたって続けられ、多摩地区全域から多くの激励と賛辞が寄せられた。

七国山の古道の壁（へき）の痕跡を見る

§防人の足跡を辿る

★小野路別所の古代東海道

05年10月13日（木）晴 参加者46人

多摩丘陵の尾根から北を振り返り、故郷のたたずまいを瞼の奥に焼き付けた防人たちが永山の峠を越えて最初に出た里が、多摩市と町田市の境界にある小野路別所。

ここは古代以来の多くの古街道が集まり、道跡や関連する遺跡の痕跡を各所に残す不思議な地帯だ。

防人たちもここで休息してから心を決めて鶴見川を渡り、夷参（イザマ＝座間）の駅家（うまや）に向かい、さらに相模国府（平塚）へと 足を進めたことだろう。

★七国山と本町田・山崎の古道

05年10月23日（日）晴 参加者35人

防人の道は小野路から野津田に向かい、時代（奈良と平安）によって上の原または鶴見川流域付で座間方向（古代の夷参駅）と原町田方向（古代の店屋駅＝まちやのうまや）に分かれていたのではないかー。その推定のもとに私達は野津田上の原を出発、推定古代鎌倉街道の「壁（へき）」の痕跡や、竹藪の中に残る古代東海道の面影に感激しつつ七国山の高台へ登る。「鎌倉街道原町田ルート」と足柄峠に続く「古代東海道店屋駅ルート」を探る一つの探索はここで終了。

午後は平行するもう一本の夷参（いざま＝座間）駅ルート確認のため、山崎団地の尾根から孝養寺~ 綾部谷戸痕跡、図師簗田寺（りょうでんじ）へ。歴史・文化に造詣の深い住職から「元の古道は寺の山門前でした」との話に、原町田・座間の両ルートの存在を確認して解散した。

★伊豆国府の防人の道 ＜バスツアー＞

05年10月5日（水）小雨 参加者24人

多摩丘陵から西へ古代東海道を辿った防人たちは険しい足柄峠を越え、伊豆国府（三嶋）に着いてホット一息ついたことだろう。雨模様の10月5日、バスで伊豆国府跡を訪れた。三嶋大社を中心にして、南北に古代東海道足柄路、東北方向から古代東海道箱根路（平安鎌倉古道）、東西に旧東海道が交差し、柿田川の清流にかこまれて国分寺・尼寺などが残る落ち着いた国府の町。宝亀年間（770~ 780）から木版印刷で暦を発行している三嶋暦師の館、函南町にある国指定史跡・粕谷横穴群（調査済89基）、頼朝が納経した塚（六萬部寺）や弥生土器破片の残る天降神社を見学し、歴史談義に花を咲かせながら多摩へと戻った。

(写真左＝三嶋大社)

§万葉防人の歌を学ぶ

さきもりまつりシリーズの教養講座として、万葉集の編纂された時代背景と、防人の歌がどのように詠まれ、また万葉集に採用されたか、などについて学習会を2回開催した。

★語り合おう万葉防人の歌

05年9月19日(祝)VITA　参加者60人

＜万葉歌VTR＞埼玉大学特任教授・今野耕作先生のご都合により事前に撮影された20分間の「防人の歌VTR」で授業。

＜駒と馬について＞中丸三次・当団調査研究部役員

「赤駒を山野に放し…」と詠まれているが夏からの放牧が定められていて、馬での防人出征も可能だった、などの考察。

＜防人の道はどこだったか？＞宮田太郎団長講演

東国北部の防人たちは東山道武蔵路を下り、武蔵国府(府中)で下総国・武蔵国等の防人を加え編隊した後、推定古代東海道を歩き多摩丘陵(横山)を越え夷参(座間)へ。後には店屋(原町田の南)から相模国府(平塚)へ移動していった、と多摩丘陵の詳しいルートを示した。

(写真右＝11 月3日講演中の今野先生)

★真情の叫び・防人の歌

05年11月3日(祝)VITA. 参加者60人

＜今野耕作先生の講演＞　兵部少輔だった大伴家持は、防人が出征にあたり朝廷に歌を出す慣習があったため、東国各地の国府に命じ防人の歌を集めた。東国10国から提出された歌は166首、内84首が万葉集に採用されている。講演ではそのうちの数首について歌詞の意味と当時の生活習慣等を解説。会場からの質問にも答え楽しい万葉講座が行われた。

なお、先生が選んだ武蔵国防人の歌(妻も含む)12 首について、防人祭り当日の人気ランキング投票の対象歌とした。

§さきもりまつり本祭日

★万葉防人見返りの峠ウォーキング

05年11月23日(祝)晴れ　参加者204人

府中・大国魂神社と聖蹟桜ヶ丘駅の 2 ヶ所から出発した参加者は多摩市関戸にある大栗橋付近で合流。メイン会場・丘の上広場で ①私の好きな防人の歌人気ランキング結果発表 ②ラッキー賞の抽選 ③今野先生の万葉歌ミニ解説のあと、突然現れた古代衣装と武具をつけた“防人”を先頭に全員でパノラマ台までミニハイク。団員の小菅さんが吹く笛の音の中で防人の妻も合流し、防人見返りの峠において、つらく悲しい別れの場面を再現。最後に祭りのモニュメント「防人見返りの峠」標柱の除幕式を行い、秋の夕映えに照らされたイベントは感動の拍手に包まれて終幕した。

★ラッキー賞当選者

「 私の好きな防人の歌」 のアンケート 全投票者の中から 、無作為抽選で次の 5 名様が当選、記念品(サイン入り 宮田太郎著書『 鎌倉街道伝説』1 冊) を贈呈した。　(写真上＝「さきもりまつり」缶バッチ)

○山口　清様(神奈川県城山町) ○三宅　悟様(町田市)
○清野富子様(八王子市) ○伊藤貞男様(多摩市)
○後町滋生様(町田市)

参考資料　防人＝さきもり

白村江の戦(663 年) 以後、大和政権は対馬・ 壱岐 2 島と 筑紫に砦を作り 、警備する者は辺境の岬を守る意味で崎守(防人) と呼ばれ、当初は主に東国 10 国(常陸・ 上野・ 下野・ 上総・ 下総・ 武蔵・ 相模・ 信濃・ 遠江・ 駿河) の若者が集められた。原則単身赴任で任期は 3 年。各国府から役人に率いられて野宿しながら徒歩で難波津(大阪) へ集合し 、港から船で北九州へ送られた。現地では畑を耕し 自給自足の屯田兵制度で、任期満了後も 帰る 旅費がなく 土着した者も 多かった。

★ランキング・トップは「赤駒…」

１１月２３日に行われた「 私の好きな防人の歌」 ランキング投票では、多摩の横山を歌った「 赤駒を～」 が断然トップだった。

上位の結果は次のとおり 。

1位(№6)　○赤駒を山野にはがし捕りかにて多摩の横山
　　徒歩(かし)ゆか遣らむ＜4417＞＝56 票

2位(№1)　○足柄の御坂に立して袖振らば家なる妹は
　　さやに見ゆかも＜巻 20－ 4423＞＝31 票

3位(№4)　○白玉を手に取り持して見るのすも家なる妹を
　　また見てももや＜4415＞＝29 票

3位(№4)　○草枕旅行く背なが丸寝せば家なる我は
　　紐(ひも)解かず寝む＜4416＞＝29 票

MENBAR'S SALON
団話室

旧暦の正月名は睦月。万葉集には「牟都奇(むつき)立つ春の初めに・・・」という歌もあるが、正月は家族親類が仲睦まじくすることからの呼称とか。わが歴史古街道団にとって初めての正月。今まで団員の皆様からイベントの都度寄せられた多くの声の中から、いくつかを選んで掲載します。

今後もこの欄は継続しますので「団員の紙上掲示板」としてお気軽にハガキまたはアンケート記述欄へご意見ご要望を投稿して下さい。

時代超え、夫婦の心情に共感

万葉「防人の歌」学習会から

○今野先生のお話が分かりやすく、リラックスして学ぶことが出来ました。団長、司会者と事務局の方々の気配りで、安心して参加することが出来ました。(70歳・女・府中市)

○万葉集の謎がひとつずつ解けてきました。(57歳・男・大阪市)

○防人の歌は方言が多いとかで意味がなかなかわからないのですが、今日の解説でよくわかりました。(70歳・女・狛江市)

○大変楽しく聴講させていただきました。平素なかなか聞けない話など興味深く聞けました。どの時代でも「人」の生きる息吹を感じました。(57歳・男・多摩市)

○久しぶりに万葉集の歌に触れ、学生に戻った様な良い気持ちに浸りました。(64歳・女・多摩市)

○東歌にも登場する「駒」までが雅語の一つとして平安に継がれたことに驚きました。道のはなし、情熱に引き込まれ限りないロマンを感じながら時を過ごしました。(73歳・女・町田市)

○いろいろと疑問がわいてくる、楽しい半日でした。このような仮説というか、ロマンを打ち上げること、今、必要だな～と思いました。(61歳・女・多摩市)

○防人とは何であるか全くわからなかったのですが、本日のお話で一応わかりました。ただ、昔の歌はむずかしいです。ただ読んだだけでは意味がわからないけど今回のように解説してもらうとよくわかります。(61歳・男・稲城市)

多摩の古代に触れて感激

「防人の道」検証ウォーク

○昔のことに思いをはせ、初めて古代のことにふれ感慨深いものがある。(63歳・男・多摩市)

○七国山手前の古道は、それらしく近在では一番の見所？　また念願の七国山に行く事が叶いました。眺望に満足…但し山頂保全、環境には失望。(58歳・男・藤沢市)

○何気なく歩いていた道の歴史を考えるととても面白く興味深く感じました。(54歳・女・相模原市)

○紅葉と古代ロマン。防人に思いをはせて充実した半日、ありがとう。(70歳・女・町田市)

○楽しい。先生のご研究のエッセンスを聴き、快い疲れで気分が広くなり開放されていく感じがする。(70歳・女・稲城市)

紅葉の峠に防人の幻影？

＜さきもりまつり最終日＞

万葉防人見返りの峠ウォーキング

○地元なのに知らないことばかりでした。新たな発見がたくさんありました。(26歳・女・日野市)

○秋日和の一日、昔の人のことを偲びながら楽しい時を過ごさせていただきました。ありがとうございました。(67歳・男・国分寺市)

○2グループが一緒になるというのはなかなか難しそうでした(無記入)

○とても楽しく歩けました。安全で気持ちのよいコースでした。御配慮ありがとうございました。(58歳・女・多摩市)

○こんなに多くの参加があるとは・・・。おどろきました。(63歳・男・多摩市)

○マップが親切で分かりやすかった。(70歳・男・千代田区)

○やたらにウォーキングしていましたが、歴史にも思いをはせながら歩きたい。(65歳・女・多摩市)

○講師の先生のお話が分かりやすくユーモアがあり楽しいウォーキングになりました。(68歳・女・西東京市)

○歴史をたどり秋の美しさを歩いて大変よかった。(65歳・女・八王子市)

○多彩な催し、感服しました。防人の扮装もとても良かったです。(70歳・女・狛江市)

○古街道の(かたち)がうすれてくるのは寂しい。ウォーキング出来るコースとして残るといいと思う(44歳・女・稲城市)

○万葉集をテーマに色々な催しをお願いします(57歳・男・大阪市)

○この「まつり」が評判を呼び、毎年開かれることになるといいですね(59歳・男・西東京市)

○次年度は数班に分けたら・・・案内は団員をガイド教育して(65歳・男・多摩市)

○昼食場所に売店(豚汁、フランクフルト、弁当屋など)を用意したら(65歳・男・多摩市)

○若葉台から「よこやまの道」までの散歩道＝アクセス道＝の整備を期待しています(46歳・男・稲城市)

☆たくさんの貴重なご意見有り難うございました。今後の参考にさせていただきます。

道との遭遇（であい）　②小学校時代

宮田　太郎

考古学者シュリーマンに憧れた頃
地面を這って土器を拾い続けた日々

昭和４０年４月に、多摩第一小学校(当時は南多摩郡多摩町立）へ入学したが、私は毎日廊下に立たされていた。なにしろ中学2年生まで学校は何をするところか理解していなかった。家からランドセルを背負って登校するが学校に着いたときにはランドセルはなく、帰宅のときは家に着いたらランドセルがないという繰り返しの毎日。通学途中で遊んでいる内にランドセルの存在を忘れてしまっていたようだ。

１年生の頃に関戸の家から当時分譲して間もない桜ヶ丘の山へ引っ越すことになり、大栗川に架かる霞ヶ関橋近くに一時借り住まいしていたことがあった。その当時の思い出は大栗川での筏遊び。近所のお兄さんが京王電鉄の枕木の廃材で作ってくれた筏に乗って小魚捕りなどをして遊ぶのが楽しみだった。ところがある日、台風の通過後にいつもの場所へ行ってみると筏は流されて見つからず悲しくなって大泣きをして涙が止まらなかった。そのとき、筏を作ってくれたお兄さんが「きっと今頃東京湾に流されて浮かんでいるよ」と言ったことばで、“そうか、この川は遠く東京湾迄続いているんだ”ということを初めて知ることになった。

当時は、とにかく何でも拾うことが好きで、ある日桜ヶ丘住宅地の天守台跡付近でお地蔵さんの首を拾い、嬉しくてずっと服の中に入れていたら母が怪しんで服を脱がしたところお地蔵さんの首が出てきて腰を抜かしそうに驚いたこともある。その首は多摩センター近くの東福寺の首なしだったお地蔵さんの上に今は収まっている筈だ

小学5年生で、学校の考古学クラブに入部。帰宅後は自転車に乗り多摩町だけではなく隣町や山を越えた町田まで出掛けては、あちこちを掘ったり、這って歩いて土器や石器を採取する毎日だった。現在の恵泉女子大学横から小野路へ抜ける道は当時は雑木林が拡がる山の中にあり、この道の先には何か別の世界があるようなドキドキしながらも冒険心が湧いてくる道でもあった。今日の研究にこの頃の多摩丘陵の原風景の記憶が多いに役立っている。

それから現在パルテノン多摩がある場所は、かつては小高い丘だったが、そこから丹沢の山々の向こうに夕日が沈むのを見たあとに家路に着くのが毎日の習慣になっていた。ある日、不思議な体験をする。夕日を背景にどこまでも続く樹海がざわざわと風に揺れ、同時にやさしい調べを歌う声を聞いたような気がした。いや、本当に唄が聞こえたと今でも思っている。古えからのメッセージではなかったかと思っている。

５年生の誕生日に両親からドイツの考古学者シュリーマンの伝記『夢を掘りあてた人』という本をプレゼントしてもらった。その本の表紙に描かれていた“３人の男が高々と頭上に壺を抱え上げた絵”が非常に印象的で感動し、“僕もこのような人になりたい”と考古学者に強くあこがれるようになった。６年生の卒業式の日に、一緒に考古学クラブに入っていた友人の矢野君と「将来は必ず考古学者になろう」と握手をして別れたがお互いに夢は夢のままで仲々実現は難しい人生を歩んで来たのかもしれない。　(写真は考古学者に憧れていた頃の筆者)

コラム

蛭ヶ岳山頂への落日

冬至の日、丹沢連峰の最高峰蛭ヶ岳への落日を田端環状積石遺構（町田市小山町・多摩境駅西）から眺めた。正に拝んだというにふさわしく、何故か居並ぶ30人程がこの美しいと言うより神々しい光景に思わず目頭を押さえた。

この田端環状積石遺構は縄文後期から晩期中葉まで長期に機能していたと考えられており、祭祀的、宗教的なものか墓地的な性格のものか確定はされていないとのことであるが、我孫子昭二氏は、隣接する居住跡が一、二軒のみであることから、この遺構は近郊各地に散らばって生活する集団が先祖を祀る宗教的な拠り所として冬至の日没を拝した聖地だったのではないかとしている。

次の日、この直線状に連なる稲荷塚古墳（多摩市百草）からこれを観察した。この稲荷塚古墳は朝鮮様式の特徴をもつ積み石工法で造られ、石室の形が胴張りといわれる形式の八角形墳で、7~８世紀にかけて天皇陵だけに使われていたと思われる高貴な被葬者の古墳とされ、有力豪族か渡来人の古墳と考えられている。

此処からでも蛭ヶ岳に沈む夕陽を観察できるのではないかとの思いがあったので稲荷塚古墳からの落日を観察した。冬至から一日過ぎているとは言え、丹沢山系のなかで一際目立った蛭ヶ岳の右肩に落陽を見た。とすれば、縄文人は太陽の威力が最も衰える冬至の日に降りかかる災いを避けるために霊峰への落陽に一族の繁栄を祈り、死者には蘇りを願って祈りを捧げたのではないか。

今年は各地の遺跡からの観察を計画している。

調査研究部（中丸・斎地）

歴史ロマン古道予定表（ 詳細は2・３ページ参照）

月日	集合場所・時間	探索・ 学習テーマ	参加費	申込み	問い合わせ先
2 月12日(日)	小田急線／新松田駅 改札前　10: 00	小田原曽我の梅林&ちょうちんまつり	隊員: 700円 一般: 1、000円	当日	歴史街道探検隊長宮田 ℡042-389-5534
2 月14日(火)	JR南部線／久地駅 改札前　10: 00	今若伝説の長尾妙楽寺	800円／人 (資料代含む)	当日	さとびとの会（ 遠藤） ℡042-376-1122
2 月15日(水)	京王線／聖蹟桜ヶ丘駅 西口改札前　10: 00	さきもり(防人)の道はどこか~ 幻の古代国道を探せ！シリーズ [奥州古道・ 多摩愛宕丘陵編]	700円 (共通参加要領)	当日	歴史古街道団長宮田 ℡042-389-5534
2 月25日(土)	京王線／聖蹟桜ヶ丘駅 西口改札前　10: 00	幻の『 古代甲州道』を探る~ その1 ~ 多摩と諏訪湖・ 八ヶ岳を結んだ道~ [大栗川と稲荷塚古墳~ 大塚古墳編]	700円 (共通参加要領)	当日	歴史古街道団長宮田 ℡042-389-5534
3 月5 日(日)	JR横須賀線／北鎌倉駅 鎌倉街道側改札前 10: 00	鎌倉六国見山と明月院の歴史散歩	隊員: 700円 一般: 1、000円	当日	歴史街道探検隊長宮田 ℡042-389-5534
3 月7 日(火)	JR相模線／相武台下駅 改札前　10: 00	さきもり(防人)の道はどこか~ 幻の古代国道を探せ！シリーズ [座間水郷~ 相模川~ 海老名編]	700円 (共通参加要領)	当日	歴史古街道団長宮田 ℡042-389-5534
3 月14日(火)	小田急線／本厚木駅 北口改札前　10: 00	厚木で発見の前方後円墳と 小野小町神社の里を歩く	800円／人 (資料代含む)	当日	さとびとの会（ 遠藤） ℡042-376-1122
3 月21日 (祝・火)	京王相模原線／ 堀の内駅改札前　10: 00	幻の『 古代甲州道』を探る~ その2 ~ 多摩と諏訪湖・ 八ヶ岳を結んだ道~ [京王堀之内~ 南大沢編]	700円 (共通参加要領)	当日	歴史古街道団長宮田 ℡042-389-5534
3 月29日(水) ~ 3 月30日(木)	集合① 東京駅 08: 00 集合② 京都駅 11: 00	【 1 泊2 日旅行】比叡山と琵琶湖南岸の古代遺跡 歴史ロマンの旅（ 募集人数: ２０名） **【 主催】郵船トラベル（ 株）** 【 企画】歴史古街道団・ 宮田太郎	39, 800円／人 (宿泊、現地費用)	3 月22日 〆切 (先着順)	歴史古街道団（ 小島） ℡042-337-4291
4 月3 日(月)	小田急線／読売ﾗﾝﾄﾞ駅 改札前　10: 00	義経・ 弁慶が歩いた菅・ 寿福寺の鎌倉古道	800円／人 (資料代含む)	当日	さとびとの会（ 遠藤） ℡042-376-1122
4 月8 日(土)	小田急線／新松田駅 改札前　09: 40	足柄古道の本路を踏査する	隊員: 700円 一般: 1、000円	当日	歴史街道探検隊長宮田 ℡042-389-5534
4 月11日(火)	京王相模原線／ 南大沢駅改札前　10: 00	幻の『 古代甲州道』を探る~ その3 ~ 多摩と諏訪湖・ 八ヶ岳を結んだ道~ [南大沢~ 多摩境・ 橋本編]	700円 (共通参加要領)	当日	歴史古街道団長宮田 ℡042-389-5534
4 月18日(火) ~ 4 月20日(木)	集合① 博多港 4/18 朝 集合② 羽田空港 4/17 12: 50発(前泊組)	【 2 泊3 日旅行】海の古街道”壱岐・ 対馬”の 渡来文化遺跡をゆく **【 主催】ＮＨＫ学園**（ 歴史古街道団共同企画）	①博多港: 2 泊3 日 88, 500円／人 ②羽田集合: 3 泊 4 日127, 000円／人	4 月4 日 〆切 (先着順)	講師: 歴史古街道団長宮田 ℡042-389-5534
4 月23日(日)	小田急線／新松田駅 改札前　09: 20	さきもり(防人)の道はどこか~ 幻の古代国道を探せ！シリーズ [足柄峠・ 当団推定踏査本ルート 編]	700円 (共通参加要領)	当日	歴史古街道団長宮田 ℡042-389-5534
5 月1 日(月)	JR立川駅ルミネ入口 08: 10	【 バスツアー】埼玉県鳩山町の笛吹峠鎌倉道と 国分寺窯跡の里を歩く	5, 500円／人	4 月16日 〆切 (先着順)	歴史街道探検隊長宮田 ℡042-389-5534
5 月7 日(日)	多摩市立関戸公民館・ 大会議室(ＭＴA8F)　14: 00	【 学習・ 講演会】多摩の歴史時代物語”万葉防人 の道”でまちおこし	500円／人 (資料代)	当日	歴史古街道団長宮田 ℡042-389-5534
5 月14日(日)	町田市立野津田公園 上の原広場管理棟前 09: 30	【 ガイド養成講座】『 春の野津田・ 歴史古道の集 まる丘&小野路ウォーキングガイド講座』	1, 000円／人	当日	歴史古街道団長宮田 ℡042-389-5534
5 月27日(土)	多摩市立関戸公民館・ 大会議室(ＭＴA8F)　14: 00	【 総会】歴史古街道団2006年度総会	－	当日	歴史古街道団長宮田 ℡042-389-5534

■年会費納入のお願い

２００６年度の団員募集が3 月から始まります。新規入団希望の方は住所・ 氏名・ 電話番号を明記の上、下記口座へ年会費 3,000 円をお振込みください。現在団員の方は同封の振込み用紙でお早めに更新の年会費（ 3,000 円）を納入願います。(2006 年度＝4 月1 日～翌年3 月３１日)

☆古街道団郵便振替口座番号・・・
００１４０－ ７－ ４４５１９５

■歴古団(REKKODAN)サポートメイト大募集 ！

古街道団のイベントに協力出来る方を募集しています。ご希望の方はイベントの際にスタッフにお声を掛けてください。

編集後記

「 団話室＝団員が話し合う部屋」へのご投稿、たくさん有難うございました。今回は“ さきもりまつり ”に関する意見を中心に掲載しました。その他の声は次号に掲載予定です。皆様のご意見を大切に、今後より良い団体になるよう 、役員一同努力していきますので本年もよろしくお願い致します。

編集責任:歴史古街道団編集部（河村・金子・遠藤）

【 発行】歴 史 古 街 道 団
事務局:〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘 4-36-21 APT1・2・3-302
宮田太郎(歴史古街道団団長） TEL/ FAX 042-389-5534
ttp://homepage3.nifty.com/kokaido/